

令和8年度 学校経営方針及び重点実践事項

学校教育目標

「夢に向かって 磨き合い 未来を拓く 萬歳っ子」
～豊かな心を持ち、
自ら学び互いに磨き合う
未来を拓くたくましい子どもの育成



めざす児童像

- 自ら挑戦し、自分を高めようとする子
- 自ら学び、考え、表現できる子
- とともに認め合い、思いやりのある子
- 健康でたくましい子

学校教育目標の「夢に向かって磨き合う」ための手立て

- ・目で耳で体で感じ(体験し)活動する様々な機会の創出
- ・発達段階に応じた目標(めあて)の効果的な設定
- ・頑張っている子への称賛・励まし、作品・感想等の積極的な掲示・紹介
- ・他学年、統合校との積極的な交流

めざす児童像の「自ら挑戦し、自分を高めようとする」ために

- とりあえずやってみる(考える前に動く)
- 続けてみる(結果はすぐには出ない)
- 自分自身との約束を守る
- 挑戦しようとする、自分を高めようとする子に育つ

学校経営方針 「志(夢)を持ち(目標を設定し)、根気強く、粘り強く取り組み、力や可能性を引き出す教育」

重点実践事項

1 機会の創出による 興味・関心の喚起

…機会(人、場、時間、もの)を用意し、児童の興味・関心を引き出し、活動につなげる。

- ① 学習指導要領及び指導計画に基づいた教科の学びを深める体験学習等の実施及びゲストティーチャーを積極的に活用する。
- ② 各種活動や行事で、意図のある仕掛けにより自主的な活動と自律的な態度を育む。
- ③ 必要な物品を揃え、児童一人ひとりに十分な体験ができるようにする。

2 基本的生活習慣の確立

…当たり前のこと(行動)を丁寧に継続して行わせ、基本的生活習慣を確立する。

- ① しつけの三原則(自分から挨拶、元気のよい返事、履きものを揃える・椅子を入れる)を根気強く身に付けさせる。
- ② 脱いだ衣服をきちんとたたませる、身のまわりの整理整頓を心がけさせる等、発達段階に応じて常に落ち着いた環境で学習できるようにする。
- ③ 話を聞く姿勢を常に意識させる。

3 基礎的・基本的学習内容の 確実な習得と読解力の向上

…効果的な仕掛けと手立てで学習内容を身に付けさせる。

- ① 基礎的・基本的内容の定着や計画的に学習する態度を育むため、家庭学習強化期間を設け、確認テストを実施する。
- ② 読解力向上についての学習時間を確保し、全校を挙げて取り組む。また、その効果を検証し、改善策を検討する。
- ③ 学力向上を図る手立てとして、目的に応じてICT機器を効果的に活用する。

4 「わかる・できる」を 実感できる授業づくり

…「個別最適な学び」・「協働的な学び」を生かした指導を通して、誰もが「わかる・できる」を実感する授業を目指す。

- ① 対話が生まれるような課題設定及び提示の仕方、導入の工夫を行う。
- ② 既習事項の理解度、困難さを感じる語句や表現を把握した上で、新しい学習に入る。
- ③ 考えが違ったり、疑問に思ったりすることがある場合、違いの理由や疑問点を明らかにし、質問する場面を意図的に設定する。

5 個々の特性、発達段階に応じた 柔軟な指導

…特別支援教育の視点を取り入れた個別最適な学びを進め、個々の力を伸ばす。

- ① 個別に配慮が必要な児童や困難を抱えた児童への適切な支援を実施する。
- ② 教職員間で情報を共有し、SCや支援委員会を活用して学校全体で個に応じた丁寧かつ適切な支援を確実に実施する。
- ③ 発達段階を踏まえ、基礎・基本を押さえた適切な量の課題と自主的な取組を促す自学指導を実施する。

6 人の気持ちを察する 感性の研磨

…感謝(当たり前と思わない)、「気づく(感じる)→動く→続ける」の継続的な実践や、道徳授業の工夫・充実により、心を耕す。

- ① 気づきの能力を高める教職員の適切な声かけ(フィードバック)を実践し、自分の行動を客観的に振り返られるようにする。
- ② 道徳授業の工夫・充実、特に児童の多様な意見を他の児童に伝える工夫をする。
- ③ 読書活動の充実、清掃活動に積極的に取り組ませる。

7 健やかな体と体力づくりの 推進

…自分でできる健康を保つ手立てを実践するとともに、発達段階に応じた体力向上策を取り、心と体を鍛える。

- ① 自ら運動に親しむ態度を育成し、体力を向上させる。
- ② 児童が主体的に活動する「健康・安全教育」や「食育」を推進する。
- ③ 健康診断結果を生かした保健指導を適切に行い、児童の健康を守る。

8 地域とともに歩む学校

…保護者や地域、郷土の力を生かした教育活動を展開し、児童の力を伸ばし、郷土愛を育み、未来につなげる。

- ① 学校運営協議会や地域学校協働活動を活用し、地域、家庭の協力を生かす。
- ② 閉校を機会として、学校・郷土に愛着を持ち、未来につながる活動を展開し、地域とともに歩んだ学校としての記憶を残す。
- ③ 郷土の歴史・産業等を活用したキャリア教育や福祉教育、環境教育等を充実させる。

9 「安全・安心」の保証

…点検や相談活動、研修等により、学校を脅かす様々な脅威から児童を守る。

- ① 地域、関係機関と連携し、通学時や放課後の交通安全や不審者からの安全を確保する。
- ② いじめ、不登校、児童虐待などの未然防止、早期発見に努め、適切に対応する。
- ③ 学校内の安全点検の確実な実施、防災リテラシーを高める防災教育、防災訓練を推進する。

10 「人材育成」と「働き方改革の推進」

…教職員一人ひとりが当事者としての意識を持ち、児童に還元する(教育の質を高める)。

- ① 校内研修、モラルアップ委員会、地域人材等の活用を通じて、教職員の意識改革、資質・能力の向上を図り、「人材育成」と「働き方改革」を推進する。
- ② 県・市、校内の研修の有効活用を図るとともに、校内外での授業参観を積極的に推奨し、日常実践での資質能力の向上を図る。
- ③ 業務の効率化、意識改革、教育活動の改善、職場環境の整備などの項目について、数値目標、手立て、評価、振り返りを行うことで働き方改革を推進する。